

令和 3 年 度  
事 業 報 告

〔 自 令和 3 年 4 月 1 日  
至 令和 4 年 3 月 3 1 日 〕

I 事業及び収入・支出の概要

1. 事業活動の概要

- (1) 調査・研究事業については、研究会として「農業・工業原材料生産と光技術研究会(第22回)」を“環境負荷を低減する持続可能な農業と光技術”をテーマにウェビナー形式で開催した。また光産業創成大学院大学に委託して、「レーザー科学技術の将来」を研究課題として調査を実施した。
- (2) 「晝馬輝夫 光科学賞」については、秀でた研究者1名を選出して、「晝馬輝夫 光科学賞」を授与して顕彰した。研究助成事業については、第1課題テーマ“光科学の未知領域の研究—とくに光の本質について”及び第2課題テーマ“光科学技術による生命科学分野の先端研究”をもって広く公募し、当年度の新規助成として第1課題14件、第2課題22件、前年度の継続助成として第1課題12件、第2課題19件に対して研究資金の助成を行った。
- (3) 普及啓発事業については、毎年開催している「浜松コンファレンス(第38回)」をアクトシティ浜松・中ホールで開催し、ホームページにてビデオ配信を行った。
- (4) 光科学技術関連分野の大学院博士後期課程学生を対象とした奨学金事業については、令和3年度採用奨学生に奨学金支給を行い、また令和5年度採用奨学生の募集・選考を行った。
- (5) 交流・協力事業については、他機関・団体の主催する事業にも協力し、外部研究者等との交流に努めた。

2. 事業活動における収入・支出の概要

- (1) 経常収益としては、浜松ホトニクス株式会社からの寄付金100,000千円、基本財産・特定資産の運用益36,439千円と雑収益を合わせ、収益計として136,494千円であった。前年度に比し14,649千円減少した。
- (2) 経常費用については、事業費が126,717千円となり、前年度に比し17,643千円程の増加となった。増加の主な理由は、令和3年度採用奨学生への奨学金(12,600千円、但し令和4年度、5年度の支給額を含む)の支給がスタートしたことと、前年度は中止した「農業・工業原材料生産と光技術研究会(第22回)」をウェビナー形式ながら開催できたことに依る。管理費については、18,646千円と前年度に比し2,063千円増となり、経常費用計は145,363千円であった。

3. 以上の結果、経常収益計136,494千円と経常費用計145,363千円との差△8,869千円が当期経常増減額となる。また当期は談話棟・宿泊棟の解体処分等を行い固定資産除却損として25,803千円が生じ、合わせた△34,671千円が当期一般正味財産増減額となった。

## II 年度末正味財産の状況

流動資産	70,404,125 円
固定資産	5,051,108,877 円
流動負債	4,303,072 円
固定負債	3,600,000 円
<u>正味財産</u>	<u>5,113,609,930 円</u>

## III 事業活動の内容

### 1. 調査・研究事業（定款 第4条第1号関係）

#### ① 研究会の開催

名 称	農業・工業原材料生産と光技術研究会(第22回) 『環境負荷を低減する持続可能な農業と光技術』
開 催 日	令和3年9月28日(火)
開 催 場 所	ウェビナー形式 (ホテルクラウンパレス浜松)
参 加 人 数	90名

〈資料1：農業・工業原材料生産と光技術研究会（第22回）〉

#### ② 委託調査研究

研究テーマ	レーザー科学技術の将来に関する調査研究
内 容	国内外最新のレーザーを用いた3次元造形の動向と将来に関する調査Ⅱ
委 託 先	光産業創成大学院大学

〈資料2：レーザー科学技術の将来に関する調査研究〉

### 2. 顕彰・研究助成事業（定款 第4条第2号関係）

#### (1) 晝馬輝夫 光科学賞

対 象 者	日本の光科学の基礎研究や光科学技術の発展に貢献する研究において、独自に独創的な研究業績を挙げた研究者個人で、応募締切時点で45歳未満の者。
応 募 件 数	11件（新規9件、前年度からの繰り越し2件）
対象者数・金額	1名 副賞 5,000千円
受 賞 者	村山 正宜 氏 理化学研究所 脳神経科学研究センター 触覚生理学研究チーム チームリーダー
研究テーマ	広視野2光子顕微鏡の実現と脳ネットワークの機能的構造の解明

〈資料3：令和3年度 晝馬輝夫 光科学賞・研究助成 一覧表〉

#### (2) 研究助成

募 集 課 題	第1課題 光科学の未知領域の研究—とくに光の本質について 第2課題 光科学技術による生命科学分野の先端研究
応 募 件 数	第1課題 54件 第2課題 78件

助成件数・金額	第1課題 14件 総額 33,800千円	第2課題 22件
前年度継続分の助成件数・金額	第1課題 12件 総額 16,200千円	第2課題 19件

〈資料3：令和2年度 晝馬輝夫 光科学賞・研究助成 一覧表〉

(3) 募集案内

国立・公立・私立大学の理・工・医の学部、関係研究科、研究機関等342施設に対し、応募要項・ポスターを直接送付、また学会誌及びホームページ等に公告を掲載し、広く募集を行った。

(4) 入選者の決定

各審査委員による書面審査を行ったのち、審査委員会での選考、及び理事会における審議を経て入選者を決定した。

3. 普及啓発事業（定款 第4条第3号関係）

浜松コンファレンスの開催

名 称	浜松コンファレンス（第38回）－新しい文化論
内 容	光をテーマとして文化の日に因んで開催した。光科学技術における先端的研究が市民生活にどう関わり合いを持っているかを解説するとともに、光科学技術によって人類あまねく真に健康で、幸福な世界を築こうという理念を啓蒙普及したいとする集いである。 挨拶：晝馬 明 公益財団法人 光科学技術研究振興財団理事長 講演：「高エネルギーニュートリノで宇宙をみる」 －南極点アイスキューブ実験－ 石原 安野 千葉大学ハドロン宇宙国際研究センター 教授
開 催 日	令和3年11月3日（水）
開 催 場 所	浜松市／アクトシティ浜松・中ホール
参加人数	250名、財団HPでビデオ配信

4. 奨学金事業（定款 第4条第4号関係）

令和3年度採用奨学生に奨学金を支給した。また令和5年度採用について、ホームページ掲載、指定大学院への募集要項の直接送付による募集を行い、応募5名より採用予定3名と補欠2名の選考を行った。

5. 交流・協力事業（定款 第4条第5号関係）

レーザーによるものづくり中核人材育成講座事業（光産業創成大学院大学）への協力として協力金を負担した。

#### IV 寄附金の受け入れ

運用財産として浜松ホトニクス株式会社から 100,000 千円の寄附金を受け入れた。

#### V 届出・申請

年 月 日	内 容	提 出 先
令和3年4月27日	変更届出書(理事1名追加の件)提出	内閣府
令和3年6月25日	令和2年度事業報告等の提出	内閣府
令和3年9月21日	第38回浜松コンファレンス後援名義 使用許可申請	浜松市、 浜松商工会議所、 浜松・浜名湖ツーリズムビ ューロー、
令和4年3月24日	令和4年度事業計画書等の提出	内閣府

#### VI 理事会・評議員会等会議

理事会・評議員会・審査委員会を次のとおり開催し、それぞれ上程の議案が承認・可決された。

開催日・場所	会 議	議 案
令和3年5月26日 浜松ホトニクス本社 Web会議	令和3年度第1回定時 理事会	・平成2年度事業報告・決算承認、他
令和3年6月17日 浜松/オークラアクト シティホテル浜松 Web会議併用	令和3年度第1回定時 評議員会	・平成2年度事業報告・決算承認、他
令和3年11月29日 東京/如水会館 Web会議併用	令和3年度審査委員会	・令和3年度晝馬輝夫光科学賞選考 ・令和3年度研究助成選考 ・令和2年度助成の研究者に対する 継続助成選考
令和3年11月29日 東京/如水会館 Web会議併用	令和3年度第2回定時 理事会	・令和3年度晝馬輝夫光科学賞決定 ・令和3年度研究助成決定 ・令和2年度助成の研究者に対する 継続助成決定、他
令和3年12月24日 書面決議	令和3年度第1回臨時 理事会	・「審査委員の報酬等並びに費用に関する 規定」改訂の件
令和4年3月3日 浜松/ホテルクラウン パレス浜松 Web会議併用	令和2年度第3回定時 理事会	・令和4年度事業計画・予算承認、他
令和4年3月4日 浜松/ホテルクラウン パレス浜松 Web会議併用	令和3年度第2回定時 評議員会	・令和4年度事業計画・予算承認、他